

平成29年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会

日 時 平成29年5月24日（水）

9時30分～

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

1. あいさつ

2. 協議会委員委嘱

3. 報告事項

- 1) 平成28年度事業報告について

4. 協議事項

- 1) 平成29年度事業実施計画について

5. その他

- ・平成29年度からの開館時間について
- ・次回化石博物館協議会の開催時期について

3. 報告事項

平成28年度事業報告

1) 教育普及

①特別展の開催（定期展示会開催事業）

名 称 「ビカリアとみずなみの化石たち」
期 間 7月22日（水）～9月25日（日）
*期間中入館者：7,496名

名 称 「みずなみ化石ニュース2016」
期 間 12月16日（金）～4月2日（日）
*瑞浪北中学校から発見されたイガイ類化石について、学術的価値、速報性が認められたため、急遽開催した。
*期間中入館者：4,079名

②企画展の開催（定期展示会開催事業）

名 称 「私たちの一品～化石博物館友の会のコレクション～」
期 間 11月3日（木・祝）～11月27日（日）
*期間中入館者：2,698名

③講座等の開催

名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
開 催 日 毎月第1日曜日・第2日曜日（1～3月は第3日曜日）
半日コースは通年（12回）、一日コースは4～11月（8回）。

名 称 夏の体験教室～化石マイスター養成講座～
開 催 日 7月28日（木）、7月29日（金）、8月20日（土）、8月21日（日）
講 師 服部 創紀 氏（岐阜県博物館）：7月28日、29日
楓 達也 氏（化石博物館ボランティア）：7月28日
村宮 悠介 氏（名古屋大学大学院）：7月29日
西岡 佑一郎氏（早稲田大学）：8月20日、21日
加藤 萌 氏（名古屋大学大学院）：8月20日、21日

名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）（応用編）
開 催 日 5月29日（日）10時～12時、13時～15時30分
8月7日（日）10時～12時、13時～15時30分
講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

名 称 コハクの原石を磨こう
開 催 日 10月23日(日) 13時～15時30分
 11月27日(日) 13時～15時30分
講 師 マイケル・クツ氏(コハクアーティスト)

名 称 小さな化石モンスターを探せ
開 催 日 11月20日(日) 13時～15時30分
講 師 西岡佑一郎氏(早稲田大学)

名 称 (仮称)北中学校現場見学会
開 催 日 11月26日(日) 9時30分～10時30分
 11時～12時
 13時30分～14時30分
講 師 大路樹生氏(名古屋大学博物館)、当館学芸員

④博物館実習生の受け入れ

期 間 7月26日から7月31日(6日間)
参加者数 1名:岐阜聖徳学園大学
業務内容 収蔵庫の整理、講座の手伝いなど

⑤他館の企画展への標本の貸し出し

名古屋市科学館と大阪大学総合学術博物館の特別展に標本を貸し出しした。

- 「恐竜化石研究所」名古屋市科学館 3月19日(土)～6月12日(日)
- 「妖怪・古生物展」大阪大学総合学術博物館 7月23日(土)～8月27日(土)

⑥団体対応

- 東浦町子ども化石発掘体験教室(東浦町教育委員会):7月27日(水)、37名
- 愛西市化石採集講座(愛西市教育委員会):8月9日(火)、18名
- 尾張旭市親子化石教室(尾張旭市):8月23日(火)、10名
- 親子理科実験教室(京都):11月6日、55名
- 麗澤瑞浪中学:2月8日(水)、15日(水)、22日(水)、15名
- 碧南海浜水族館:3月11日(土)、36名

⑦学校・教育委員会との連携

- 名古屋市立向陽高等学校国際科学科の連携講座:8月10日(水)、39名
- 文京学院大学:8月24日(水)、30名
- 博物館活用講座(岐阜県教育委員会主催):11月7日(金)、11名

⑧出張講座

- 青少年のための科学の祭典 2016 岐阜大会 in 恵那（恵那文化センター）にて「化石採集体験！化石から調べる太古の地球」というタイトルでブース出展を行った。2日間でブースには約200名もの参加者があった。
- 2月18日（土）に佐賀県立宇宙科学館で「海の語り部講座～貝とカニ化石からわかる太古の浅瀬」というタイトルで講演を行った。
- 2月23日（木）に瑞浪中学1年生（4クラス）を対象に、瑞浪の化石について授業を行った。

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

（1）調査

- 熊本県天草市：古第三紀の十脚類化石、第四紀貝類・十脚類化石の収集

6月4日から6日にかけて御所浦島港の浚渫砂を調査し、オオスナモグリを含む十脚類化石、貝類化石約100点を採集した。また、天草下島の古第三紀層から十脚類化石1点を採集した。本調査は笹川科学助成の補助金にて行った。

- 北海道羽幌町：白亜紀のアンモナイト、新生代の貝、十脚類化石の採集

9月6日から9日に調査を行い、白亜系蝦夷層群からは、アンモナイト約50点、カニ化石3点を採集した。中新統金駒内層からは貝化石10点、カニ化石5点を採集した。カニ化石については、来年の古生物学会で発表を行う。

- 瑞浪市土岐町、瑞浪北中学校工事現場：瑞浪層群産貝類、クジラ類化石の調査

平成28年6月から始まった工事の現場を調査中、10月10日にイガイ類の密集層を発見し、1月にかけて調査を行った。その結果、イガイ類を含む貝類100点以上、クジラ類を含む脊椎動物化石30点以上を採集した。この成果については、12月16日から特別展で公開した。また、来年度の研究報告に論文としてまとめる予定である。

- 鹿児島県鹿児島市：第四紀の貝、十脚類化石の採集、ノジュールの調査

平成29年2月26日から3月1日にかけて行い、約5000年前の燃島貝層、燃島シルト層から貝、カニ化石約100点、約80万年前の河頭層から貝、カニ化石約20点を採集した。また、燃島シルト層中のノジュールについては、名古屋大学博物館の吉田教授の研究室と共同で調査を行った。

(2) 研究

- 瑞浪北中学校から採集されたイガイ類・クジラ類化石の研究
(担当：安藤、群馬県立自然史博物館、名古屋大学、三重大学等と共同研究、30年度完了予定)
- 九州の新生界産カニ化石の研究 (担当：安藤、継続中)
- 渥美層群のカニ化石の研究その2 (担当：柄沢、当館友の会との共同研究)
- 師崎層群産カニ化石の研究 (担当：柄沢、安藤、東海化石研究会と共同、28年度完了)
- 日本の貝化石に認められるタコ類の穿孔の研究
(担当：柄沢・安藤、フロリダ大学クロムマッカ博士との共同研究)
- 生命の樹プロジェクト十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
(担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究)
- ◆下記の論文が出版された。

Karasawa, H., Y. Mizuno, K. Hachiya, and Y. Ando. 2017. Reappraisal of anomuran and brachyuran decapods from the lower Miocene Morozaki Group, Japan, collected by the Tokai Fossil Society. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum*, no.43, 47-69.

安藤佑介・河野重範. 2017. 鹿児島県南種子町に分布する下部更新統増田層から産出した十脚類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告, 43号, 83-92.

Ando, Y., S. Kishimoto, and S. Kawano. 2016. Two new species of *Thalassina* (Decapoda, Thalassinidae) from the Miocene of Japan. *Neues Jahrbuch für Geologie und Paläontologie*, 280, 107-117.

Schweitzer, C. E., H. Karasawa, J. Luque, and R. M. Feldmann. 2016. Phylogeny and classification of Necrocarinoidea Förster, 1968 (Brachyura: Raninoidea) with the description of two new genera. *Journal of Crustacean Biology*, 36(3): 338-372.

Pasini, G., A. Baldanza, L. M. Gallo, A. Garassino, and H. Karasawa. 2016. Anomuran and brachyuran trackways and resting trace from the Pliocene of Valduggia (Piedmont, NW Italy): environmental, behavioural, and taphonomic implications. *Natural History Sciences. Atti Soc. it. Sci. nat. Museo civ. Stor. nat. Milano*, 3 (1): 35-48.

②古生物データベースの更新 (資料検索システム管理経費)

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。3月16日現在、約3300点の標本が登録されている。

③化石博物館研究報告の発行 (定期研究報告発行事業)

平成29年3月17日に43号を出版した。研究報告に新種として記載された種については、ウェブ上のデータベース「Zoobank」に登録を始めた。3月16日現

在、35号までに掲載された新種について登録済みである。

3) 展示資料等の購入

①展示備品の購入（展示備品等購入事業）

- 貝類研究のために日本近海産貝類図鑑を購入した。 購入費約 40,000 円
- 標本クリーニングのためコンプレッサーおよびエアーカッターを購入した。
購入費 エアーカッター：約 60,000 円 コンプレッサー：約 50,000 円

②新ミュージアムグッズの製作・販売

（株）甲府機械彫刻と共同でブラジル産メノウにビカリアと月のおさがりを描いたものを1個400円で販売開始した（原価は1個300円）。

資料

平成28年度入館者数

(単位：人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	平成27年度	比較
4	789	714	60	89	1,652	1,615	+37
5	2,495	2,238	207	697	5,637	5,345	+292
6	701	565	121	457	1,844	2,003	-159
7	1,186	932	207	232	2,557	2,317	+240
8	1,938	1,735	162	431	4,266	5,022	-756
9	1,024	739	88	585	2,436	2,697	-261
10	824	611	197	1,103	2,735	2,899	-164
11	1,013	799	309	780	2,901	2,902	-1
12	349	273	21	45	688	902	-214
1	407	318	46	9	780	911	-131
2	468	389	46	156	1,059	973	86
3	821	786	108	149	1864	1866	2
合計	12,015	10,099	1,572	4,733	28,419	29,452	-1,033

平成28年度みずなみ化石教室参加者

(単位：人)

半日コース		一日コース		上級コース	
開催日	受講者	開催日	受講者	開催日	受講者
4月24日	29	4月24日	28		
5月15日	28	5月15日	31		
6月12日	26	6月12日	32		
7月17日	30	7月17日	37		
9月11日	31	9月11日	32		
10月9日	29	10月9日	32		
				10月29日	9
				10月30日	8
11月13日	31	11月13日	29		
12月4日	29				
1月22日	19				
2月19日	18				
3月19日	31				
開催日数 11日	301	開催日数 7日	221	開催日数 2日	17
計 539人					

平成28年度各講座受講状況

(単位：人)

講座名	開催日	受講者数	定員
夏の化石教室①	7月28日	28	25
夏の化石教室②	7月29日	21	25
夏の化石教室③	8月20日	25	25
夏の化石教室④	8月21日	27	25
恐竜の模型を作ろう(入門編)	5月29日	10	20
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月7日	18	20
恐竜の模型を作ろう(応用編)	5月29日	7	15
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月7日	10	15
コハクの原石を磨こう	10月23日	23	25
小さな化石モンスターを探せ	11月20日	16	20
(仮称)北中学校現場見学会	11月26日	72	90
コハクの原石を磨こう	11月27日	25	25
合 計		282	330

4. 協議事項

平成29年度事業計画

1) 普及活動の充実

①企画展の開催（定期展示会開催事業）

名 称 調査速報「海のない岐阜県からクジラ化石の発見」

期 間 4月29日（土）～5月28日（日）

目 的 瑞浪北中学校工事現場から発見されたクジラ化石を展示する。

展示概要 平成28年12月に工事現場から発見されたクジラ化石の一部を公開する。レクチャールームの1/3を使用予定。

※予定通り4月29日から予定通り開催している。なお、4月28日に報道発表を行った。

名 称 「化石になったキミヨ～な深海の生物たち」

期 間 7月1日（土）～9月24日（日）

目 的 深海の地層から見つかった化石を紹介する。

展示概要 瑞浪層群をはじめ、師崎層群（愛知県）などの深海の地層からは普段なかなか見ることのできない生物の化石が見つかる。本企画展では、師崎層群の化石を中心に深海の地層から見つかった生物の化石約100点を展示する。

名 称 「みずなみ化石ニュース 2017」

期 間 3月20日（火・祝）～5月27日（日）

目 的 瑞浪北中学校工事現場から採集された化石の研究成果を紹介する。

展示概要 瑞浪北中学校工事現場から発見された化石の研究が完了する。採集されたイガイ類やクジラ類をはじめとする化石を展示し、研究により明らかになった当時の環境について紹介する。

②講座等の開催（定期講座開催事業）

名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）

概 要 野外学習地での化石採集（半日コース）、化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（一日コース）を行う。

開 催 日 毎月1回

定 員 半日コース：30名、一日コース：30名

参加費 半日コース 一般：300円、高校生以下：100円

一日コース 一般：700円、高校生以下：500円

名 称 みずなみ化石教室上級コース
概 要 化石教室参加経験者を対象に、少人数による化石採集、化石のクリーニング、鑑定（名前付け）を行う。
開 催 日 5月27日（土）、10月28日（土）
条 件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
定 員 10名
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円
（入館料、教材費、保険代を含む）

名 称 夏の化石教室
概 要 小学生中学年以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、化石クリーニング等を行う。
開 催 日 7月27日（木）、28日（金）
8月11日（金・祝）、8月20日（日）
時 間 9時30分から15時30分
定 員 25名
参 加 費 一般：1,000円、高校生以下：800円
（入館料、教材費、保険代を含む）

講 師 西岡佑一郎氏（早稲田大学）、高津翔平氏（岐阜県博物館）、加藤 萌氏、
安藤瑚奈美氏、石野沙季氏、村宮悠介氏（以上名古屋大学）
当館学芸員

名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）
概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
開 催 日 8月6日（日）
時 間 10時～12時
定 員 25名
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円
（入館料、教材費、保険代を含む）

講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

名 称 恐竜の模型を作ろう（応用編）
概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
開 催 日 8月6日（日）
時 間 13時～15時30分
定 員 20名

参加費 一般：1500円、高校生以下：1300円
(入館料、教材費、保険代を含む)

講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

名称 コハクの原石を磨こう!

概要 瑞浪でも見つかっているコハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開催日 10月22日(日)、11月26日(日)

時間 13時から15時30分

定員 25名

参加費 一般：1500円、高校生以下：1300円
(入館料、教材費、保険代を含む)

講師 マイケル・クツ氏(コハクアーティスト)

名称 小さな化石モンスターを探せ

概要 洞窟の堆積物から哺乳類化石を拾い出し、種同定を行う。化石を観察し、哺乳類の進化について学ぶ。

開催日 11月19日(日)

時間 13時から15時30分

定員 20名

参加費 一般：800円、高校生以下：600円
(入館料、教材費、保険代を含む)

講師 西岡佑一郎氏(早稲田大学)

※講座の申し込みについて平成29年度から、講座の申込は、別紙の通り申し込み期間を設け、希望者が定員をオーバーした場合は、抽選を行う。定員に達しない場合は、当日まで申し込みを受け付ける。

出前授業・化石資料貸し出しの実施(市内向け)

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時(要予約)

講師 当館学芸員

対象 小学4年～中学3年

③博物館実習生の受け入れ

概要 夏期に1週間、実習生を受け入れる。

平成29年度は7月25日（火）から7月30日（日）：4名

8月1日（火）から8月6日（日）：2名

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

(1) 調査

宮城県仙台市（東北大学）：瑞浪北中学校工事現場から見つかった貝類化石の分類・検討を行うため、東北大学総合学術博物館に収蔵されている標本の観察を行う（8月を予定）。

北海道羽幌町：白亜紀のアンモナイト、新生代の貝、十脚類化石の採集（7月）

*九州大学と共同

瑞浪北中学校造成工事現場：6月の造成工事終了まで定期的に調査を行う。

(2) 研究

- 瑞浪北中学校産化石の研究（担当：安藤、30年度完了予定）
- 九州の十脚甲殻類（エビ・カニ）化石の研究（担当：安藤）
- 日本の貝化石に認められるタコ類の穿孔の研究
（担当：柄沢・安藤、フロリダ大学クロムマッカ博士との共同研究）
- 生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究）

②古生物データベースの更新（資料検索システム管理経費）

引き続き、ボランティアによる収蔵資料のデータベース登録を行う。登録したデータは定期的にウェブ上にアップロードを行う。データベースは、一部スマートフォンでは文字化けを起こすことが確認されているため、早い段階で対処を行いたい。

③化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

平成30年3月に化石博物館研究報告第44号を330部発行し、国内及び海外の博物館・研究機関等へ送付する。北中学校から発見された化石について各分野の研究者による論文をまとめた特集ページを組む。Zoobankへの登録も引き続き行う。

3) 展示資料等の購入（展示備品等購入事業）

①図書類・研究用備品の購入

- 図書コーナー設置のため本棚および化石に関する最近の書籍を購入する。

本棚：約40,000円 書籍：約20,000円

●標本保管用冷蔵庫 約50,000円

＊薬品類保管のため。

●マイクロツール

＊化石試料の精密なクリーニングを行うため。約70,000円

＊上記の備品は4月末までに購入した。

②ミュージアムグッズの製作（ミュージアムグッズの充実）

来館者の希望のあったキーホルダーの製作・販売を行う（絵柄は瑞浪 Mio ちゃん）。

③図書コーナーの設置

来館者からの要望のあった図書コーナーを展示室に設置する。「瑞浪の自然」コーナーを廃止し、その跡に本棚、机、椅子、カーペットを設置する。

＊4月末に設置完了した。

5. その他

1) 4月からの開館時間について

平成29年4月から化石博物館を含む4館の開館時間を午前9時から午後5時（最終入館時間は午後4時30分）に変更する。

＊4月1日から予定通り午前9時開館、午後5時閉館としている。

2) 自動販売機の設置について

＊手をつなぐ育成会からの申請書を受理し、6月1日の設置を目指して調整中である。